

9月は世界アルツハイマー月間です！

今回は、認知症に関連するRUN伴(らんととも)、徘徊高齢者家族支援事業などを紹介します。

## 新しい事業が始まりました

### 徘徊高齢者家族支援事業

徘徊の症状がある高齢者に、携帯型端末機を貸与し、所在不明になった際に早期に保護し、安全確保を図り、介護者の精神的負担を軽減します。

**対象者** (下記のいずれかに該当する方)

- ①介護保険による要介護認定者、及び要支援認定者で徘徊の症状がある方
- ②医師により認知症と診断された方

**内容** 所在不明時にGPS機能により早期に発見し保護につなげます。

**利用者負担** 無料



### 携帯型緊急通報システム事業

身体に不安のあるひとり暮らしの高齢者で固定電話の無い方に対し、携帯型端末機を貸与し緊急時の連絡体制を支援します。

**対象者** (下記のいずれかに該当する方)

- ①75歳以上のひとり暮らしの方・ひとり暮らしの重度身体障害者の方
  - ②65歳以上で、心疾患、脳血管疾患、呼吸器障害の疾患があるひとり暮らしの方
- ※いずれも自宅に固定電話が設置されていない方に限ります。

**内容** ①緊急通報装置:携帯型端末機の緊急ボタンを押すと市の委託先のセンターに緊急事態の発生を知らせます。

- ②電話によるヘルスケアサービス:健康や介護に関する相談を市の委託先のセンターが24時間体制で受け付けます。

**利用者負担** 無料

※両事業ともお問合せは地域包括支援センター(0470-62-1118)へ

## まだまだ熱中症に要注意！



9月になりましたが、まだ暑い日が続いています。

高齢者の場合、日常生活のなかで脱水症に陥りやすい傾向にあり、屋内での熱中症が多く発生しています。

年齢を重ねると、のどの渇きや暑さに気が付きにくくなるだけでなく、飲んだり食ったりする量が減り体力低下が起きやすいことや、カラダの水分を貯める役割の筋肉量が低下するため、脱水症が起こりやすくなります。

そのため、こまめに水分や塩分をとるだけでなく、エアコンも積極的に使用し、熱中症の危険性を少しでも遠ざけるようにしましょう。そして、少しでも体調に異変を感じたら早めに対処し、もし回復しなければ、ためらわず119番通報しましょう。



緩和型訪問介護とは、ちょっとした困りごとや、病院等への送迎をお手伝いするサービスです。

**[対象者] ▶▶▶ 要支援1もしくは要支援2 認定をお持ちの方**

サービス内容	サービス費用
<p>●簡易的な生活援助</p> <p>ゴミ出し 電球交換 安否・体調確認 など</p>	<p>1回（20分未満） 164円</p>
<p>●通院等乗降介助</p> <p>病院 公共機関 集いの場 通いの場 選挙への送迎</p>	<p>片道 89円～</p> <p>その他に実費負担（燃料費・初乗り料等）が、かかります。 （実費は、利用事業所により異なります。）</p>

利用を希望される方は、担当ケアマネジャーもしくは地域包括支援センター《0470-62-1118》へお問い合わせください。



らんとも  
**RUN伴とは**

認知症の人や家族、支援者や医療福祉関係者、いままで認知症のひとと接点がなかった地域の人が少しずつリレーをしながらタスキをつないでいくイベントです。地域の人と認知症の人が“出会う”ことが、認知症になっても安心して暮らせる地域をつくるはじめの一歩となります。

いすみ市では2019年に初開催されました。今年度はコロナ渦の為、オンラインイベントの開催を予定されています。

RUN伴を通して自分ごととして、認知症のことを考えてみませんか？

RUN伴いすみでは10月に認知症について情報発信をするYouTubeを開設予定です。お楽しみにお待ちください。



**RUN伴が目指す社会**

**CONNECT**

- 認知症の人と出会う・つながる

**ACTION**

- それぞれができるアクションを

**THINK**

- ジブンゴトとして考える

RUN伴についての問い合わせ先  
ピースケアマネジャー事務局  
0470-62-6952 (TEL)  
0470-62-6962 (FAX)